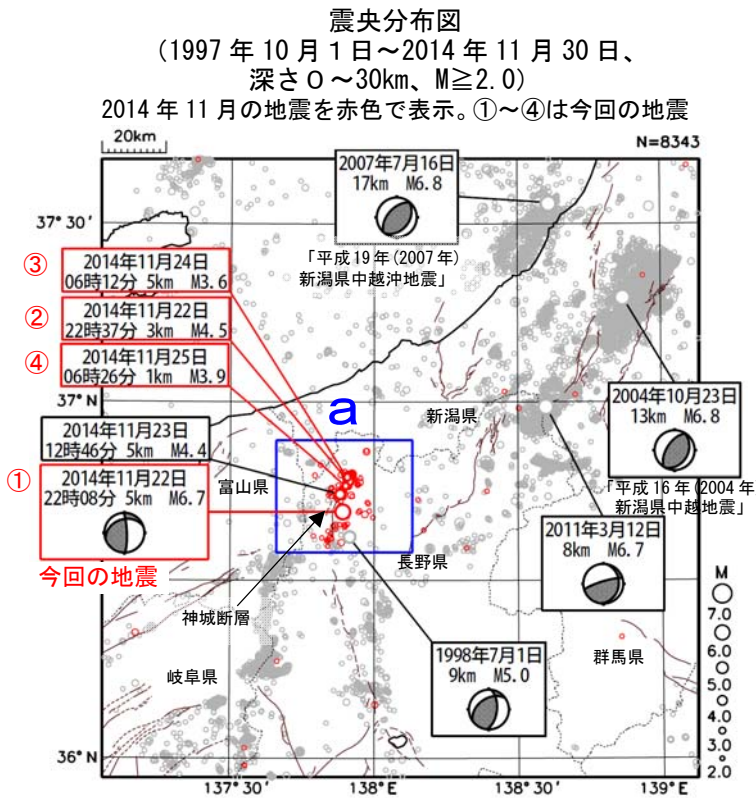


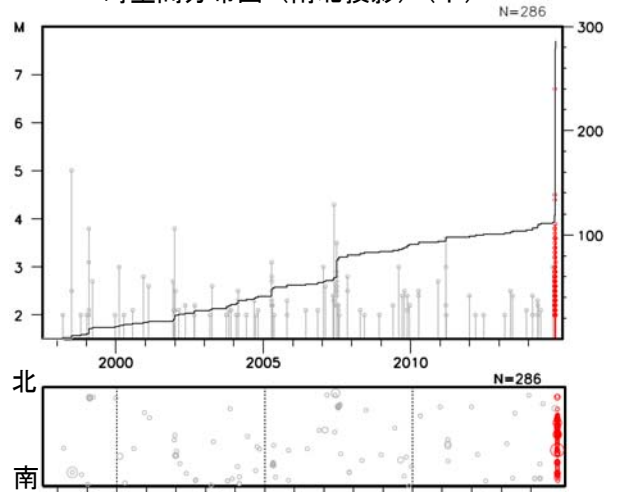
# 11月22日 長野県北部の地震

2014年11月22日22時08分に長野県北部の深さ5kmでM6.7の地震（最大震度6弱、①）が発生した。この地震により負傷者46人、住家全壊77棟、住家半壊137棟などの被害を生じた（2015年1月5日現在、総務省消防庁による）。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

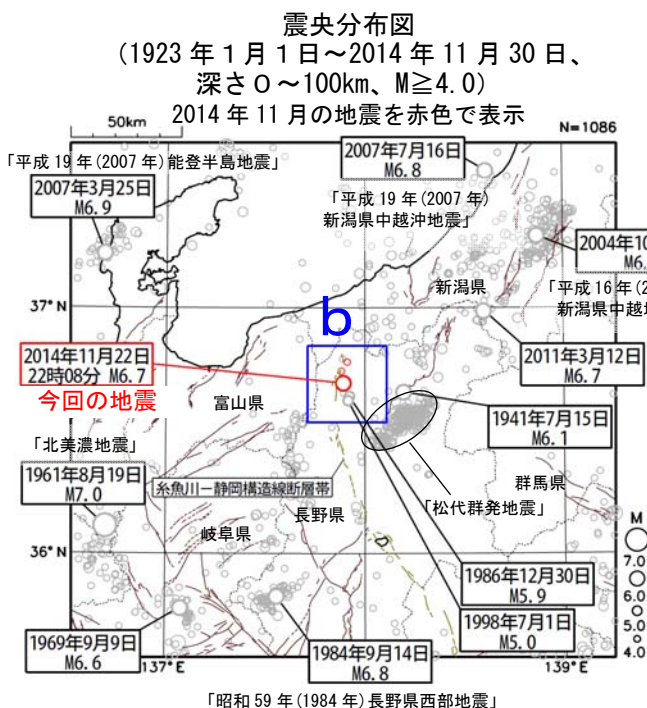
この地震の発生後、小谷村から白馬村にかけての南北約20kmの領域で余震活動がみられた。余震は次第に減少してきている。最大規模の余震は同日22時37分に発生したM4.5の地震（最大震度5弱、②）である。このほか、24日06時12分にM3.6の地震（最大震度4、③）、25日06時26分にM3.9の地震（最大震度4、④）など、11月30日までに震度1以上を観測した余震が100回発生した。これらの余震活動がみられた領域は、糸魚川-静岡構造線活断層系の一部である神城（かみしろ）断層の位置にほぼ一致している。



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図 (上)、  
時空間分布図 (南北投影) (下)



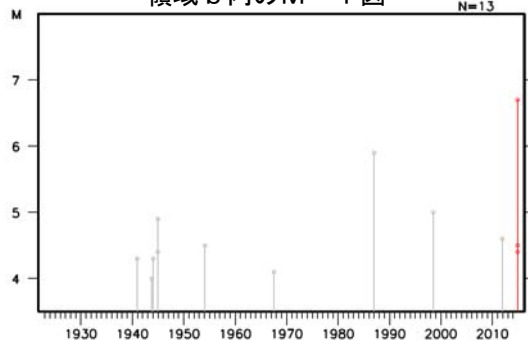
図中の茶細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す



1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、1998年7月1日にM5.0の地震（最大震度4）が発生している。

また、1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 b）では、1986年12月30日にM5.9の地震（最大震度4）が発生し、道路被害4ヶ所などの被害を生じている（「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図



図中の茶細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す